



たけした ゆうき
竹下 優希さん (杉並台)

Profile -プロフィール-

18歳。合志中学校出身。鎮西高等学校男子バレー部でエースとして活躍。全日本高校選抜チームにも選ばれ、昨年8月には高校日本代表としてタイ遠征にも参加。1月の春高バレーでは優秀選手賞を受賞した。身長180^{センチ}、体重78^{キログラム}、ジャンプの最高到達点330^{センチ}。



仲間とつかんだ
春高バレーの銀メダル

努力でつかんだ準優勝

支えてくれた人たちに感謝

春高バレー準優勝

「バレーは、ボールを落とせないというプレッシャーとの闘いです」そう話すのは、鎮西高等学校男子バレー部でエースを務めた竹下優希選手。1月の第68回全日本バレーボール高等学校選手権大会（春の高校バレー。通称「春高バレー」）では、自慢のジャンプ力と力強いスパイクでチームを準優勝に導いた。

小学1年生のころ、兄の誘いがきっかけでバレーを始め、ボールを拾う難しさ・面白さにひかれていった。中学時代は合志中初の県大会優勝を飾り、県選抜メンバーとしても活躍。鎮西高校では1年生でレギュラーとしてコートに立った。春高バレーでは「ネットより高く上がったボールはエースの責任」という監督の言葉どおり難しいトスでも必ずスパイクを決め、点を取るのがエースだと自覚して臨んだ。

努力でつかんだ夢



春高バレーで強力なジャンプサーブを打つ竹下選手

チームワークが不可欠だという竹下選手。チームメイトとは互いの悪いところを指摘し合い、けんかしながらもともに切磋琢磨してきた。「仲間、監督、コーチ、家族。周りの支えがあるから頑張れた」と高校生活を振り返る。

竹下選手の身長は180^{センチ}。高校バレーボール界では決して高くはないが、その一方で抜群の跳躍力を誇る。高さ240^{センチ}のネットを90^{センチ}を超える高さで手が届く。身長が高くない分、ジャンプ力で補ってきた。太ももやふくらはぎを鍛え、必死でトレーニングを積んでエースの座をつかんだ。「背が高なくてもバレーはできる、楽しめる。たくさんの人にバレーの楽しさを知ってほしいから、そういう姿も見せていきたい」。

4月には愛知学院大学に進学する。「バレーを続けられることに感謝しています」と竹下選手。「大学でも頼られるエースになって日本一を目指したい。全日本の選手に選ばれること、実業団でバレーを続けることが目標です」と優しい笑顔に強い意思をのぞかせた。

ちどりふで

今月は、菊池地域4市町が取り組んだ合同特集を掲載しました。菊池恵楓園入所者自治会の志村さんと太田さんに取材して感じたのは、生の声を聴くことの大切さ。もちろん、正しい認識を持つために学ぶことも重要ですが、生の声には人の思いや生活の息づかいがあります。そのときその人がどう感じたのか。生活に、人生にどのような影響があったのか。「人権を大切に」と呼びかけなくても、「もしも自分の身に起こったら」と考えることができれば、人は他者を大切にできるのだと感じました。

入所者の方から直接お話を聴ける機会は少ないかもしれませんが、図書館で手記などを探し著者の思いに触れる、文化交流会館を見学し事実を間近で感じるなどの方法もあります。菊池恵楓園は私たちのまににあります。ぜひ一度足を運んでみませんか。

※1月末現在
()内は前月比

人口	59,777 (+ 75)
世帯	22,773 (+ 27)
出生	65
転入	172
死亡	36
転出	126



携帯用サイト

発行/合志市
編集/企画課
☎248-1813
〒861-1195
熊本県合志市竹迫2140
ホームページアドレス
<http://www.city.koshi.lg.jp>
Eメール kikaku@city.koshi.lg.jp
発行日/平成28年3月3日